



平成24年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年6月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社くらコーポレーション

コード番号 2695 URL <http://www.kura-corpo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長

(氏名) 久宗 裕行

TEL 072-368-6211

四半期報告書提出予定日 平成24年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年10月期第2四半期の業績(平成23年11月1日～平成24年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第2四半期	39,027	7.6	1,921	23.9	2,067	15.8	996	29.4
23年10月期第2四半期	36,283	5.6	1,551	△40.3	1,785	△34.8	770	△50.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第2四半期	48.16	—
23年10月期第2四半期	37.20	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第2四半期	32,360		18,637		18,637	57.6
23年10月期	30,630		17,889		17,889	58.4

(参考) 自己資本 24年10月期第2四半期 18,637百万円 23年10月期 17,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
23年10月期	—	0.00	—	12.00	12.00
24年10月期	—	0.00	—	—	—
24年10月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年10月期の業績予想(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	7.5	4,200	43.0	4,500	26.3	2,250	49.0	108.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年10月期2Q	20,699,800 株	23年10月期	20,699,800 株
24年10月期2Q	— 株	23年10月期	— 株
24年10月期2Q	20,699,800 株	23年10月期2Q	20,699,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成23年11月1日～平成24年4月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災から1年を迎え、企業の生産活動が回復するなど復興に向けた足取りはより確かなものとなる一方、欧州諸国の財政不安や原油高の影響などを背景とした景気の下振れリスク等が懸念され、依然として先行き不透明な状況のまま推移しております。

当社が属する外食産業におきましては、サプライチェーンの復旧に伴い震災による自粛ムードが和らぎ、復興需要と相俟って若干の回復傾向が見られるものの、引続き消費者の節約志向は根強く、事業環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、安全・安心で美味しいものを求めるお客様のニーズは、当社の掲げる企業理念“食の戦前回帰”にマッチするものであると認識し、お客様来店の動機付けを図る様々な取り組みを行ってまいりました。平成23年11月に全店導入いたしました自社開発の寿司皿カプセル「鮮度くん」は、その新規性と機能性によりテレビをはじめとした各マスコミに取り上げられるなど注目を集め、ご来店いただいたお客様にも「衛生的」と好評をいただき、“食の安全・安心”に取り組む当社の経営姿勢に、予想を超える共感の声をお寄せいただいております。

商品開発面では、揚げたて・サクサクで好評をいただいております「天ぶら」取扱店を大幅に拡大し、ほぼ全店でご賞味いただけることとなりました。また、地域漁協の活性化を図るべく、ご当地食材への取り組みを実施しておりますが、その一環として、4月には養殖魚生産量日本一を誇る愛媛県の陸の特産物である“伊予かん”を混ぜたえさを食べて育った宇和島産の養殖ブリ「みかんぶり」を全店で独占販売しました。ブリ特有の臭みがなく、ほのかに香る爽やかな柑橘系の風味をお楽しみいただきました。

販売促進面では、人気寿司ネタ1・2位の「まぐろ」・「サーモン」の特上ネタをご提供するフェアを毎月実施するとともに、携帯会員向けに割引クーポンを各月メール配信いたしました。さらに、3月にはロングセラーの人気漫画「名探偵コナン」のオリジナルグッズをプレゼントするタイアップキャンペーンを実施いたしました。

店舗開発につきましては、平成24年2月に大分県、同じく3月には高知県に初進出を果たしたのをはじめ、西日本地区で8店舗、東日本地区で4店舗の計12店舗を新規出店いたしました結果、当第2四半期累計期間末の店舗数は全て直営で297店舗(「無添蔵」4店舗を含む)となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高390億27百万円(前年同期比7.6%増)、営業利益19億21百万円(同23.9%増)、経常利益20億67百万円(同15.8%増)、四半期純利益は9億96百万円(同29.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産額は323億60百万円となり、前事業年度末と比較して17億29百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が1億92百万円、固定資産が9億62百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、137億22百万円と前事業年度末と比較して9億80百万円の増加となりました。これは、主に、未払法人税等が4億93百万円増加した他、買掛金やリース債務が増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金の増加により186億37百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが31億41百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが20億3百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが9億44百万円の支出となり、この結果、当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)残高は、期首より1億92百万円増加し、43億37百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は31億41百万円(前年同期比65.2%増)となりました。これは、主に税引前四半期純利益が18億88百万円となり、減価償却費が12億31百万円あったことと仕入債務が1億62百万円増加した一方で、法人税等の支払が4億36百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は20億3百万円(前年同期比1.5%減)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が12億99百万円、貸付けによる支出が5億25百万円、差入保証金の差入による支出が1億17百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は9億44百万円(前年同期比34.8%増)となりました。これは、リース債務の返済による支出が4億96百万円、配当金の支払が2億47百万円、長期借入金の返済による支出が2億円あったことによるものであります。

(3)業績予想に関する定性的情報

平成24年10月期の通期業績予想は、売上高800億円、営業利益42億円、経常利益45億円、当期純利益22億5000万円の見通しであります。当初、平成23年12月14日に公表いたしました通期業績予想は平成24年5月29日に修正しております。詳細につきましては、平成24年5月29日公表の業績予想の修正に係る適時開示資料をご参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,144,898	4,337,395
原材料及び貯蔵品	347,501	355,071
その他	756,020	1,322,718
流動資産合計	5,248,420	6,015,185
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	10,014,377	10,394,984
その他(純額)	6,371,264	6,606,547
有形固定資産合計	16,385,642	17,001,531
無形固定資産		
902,226		985,784
投資その他の資産		
関係会社株式	407,065	407,065
長期貸付金	3,230,469	3,336,020
差入保証金	3,286,749	3,382,144
その他	1,170,303	1,232,278
投資その他の資産合計	8,094,586	8,357,508
固定資産合計	25,382,456	26,344,824
資産合計	30,630,876	32,360,009
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,919,465	3,082,102
1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000
未払金	2,650,595	2,711,220
未払法人税等	499,550	993,039
その他	1,257,446	1,529,355
流動負債合計	7,727,058	8,715,717
固定負債		
長期借入金	1,000,000	800,000
リース債務	2,751,225	2,910,421
資産除去債務	941,407	995,510
その他	321,935	300,707
固定負債合計	5,014,567	5,006,639
負債合計	12,741,626	13,722,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	13,549,536	14,297,937
株主資本合計	17,889,250	18,637,651
純資産合計	17,889,250	18,637,651
負債純資産合計	30,630,876	32,360,009

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
売上高	36,283,057	39,027,051
売上原価	16,896,351	18,018,348
売上総利益	19,386,705	21,008,703
販売費及び一般管理費	17,835,531	19,087,006
営業利益	1,551,174	1,921,697
営業外収益		
受取利息	30,109	32,883
受取手数料	117,329	116,908
受取保険金	46,716	—
為替差益	1,100	7,448
物販収入	51,625	31,573
雑収入	50,662	15,148
営業外収益合計	297,543	203,962
営業外費用		
支払利息	34,747	40,100
物販原価	23,553	13,856
雑損失	4,776	4,056
営業外費用合計	63,078	58,013
経常利益	1,785,640	2,067,646
特別損失		
固定資産除却損	6,521	5,424
店舗閉鎖損失	19,062	32,701
減損損失	—	140,737
災害による損失	50,046	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	311,193	—
特別損失合計	386,823	178,862
税引前四半期純利益	1,398,816	1,888,783
法人税、住民税及び事業税	706,000	926,000
法人税等調整額	△77,254	△34,015
法人税等合計	628,745	891,984
四半期純利益	770,070	996,799

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,398,816	1,888,783
減価償却費	1,016,083	1,231,093
減損損失	—	140,737
受取利息	△30,109	△32,883
支払利息	34,747	40,100
固定資産除却損	6,521	5,424
店舗閉鎖損失	19,062	32,701
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	311,193	—
災害損失	50,046	—
たな卸資産の増減額(△は増加)	△72,272	△7,570
仕入債務の増減額(△は減少)	160,314	162,636
未払消費税等の増減額(△は減少)	△194,864	83,125
その他	371,214	73,185
小計	3,070,753	3,617,334
利息の受取額	247	1
利息の支払額	△33,889	△39,715
災害損失の支払額	△28,752	—
法人税等の支払額	△1,106,696	△436,466
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,901,662	3,141,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,504,628	△1,299,943
無形固定資産の取得による支出	△138,838	△9,820
貸付けによる支出	△295,001	△525,734
差入保証金の差入による支出	△110,969	△117,841
差入保証金の回収による収入	19,071	29,924
その他	△3,938	△80,441
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,034,304	△2,003,856
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△110,000	△200,000
リース債務の返済による支出	△343,970	△496,991
配当金の支払額	△247,093	△247,707
財務活動によるキャッシュ・フロー	△701,063	△944,699
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△102
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△833,705	192,496
現金及び現金同等物の期首残高	4,270,739	4,144,898
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,437,033	4,337,395

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。